

ごあいさつ



ステークホルダーの皆さまへ

平素より私ども日本パーカライジンググループの事業活動に格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

私は、本年6月に開催された当社定時株主総会で代表取締役社長執行役員に就任いたしました青山雅之と申します。当社グループは激動する現下の社会環境にあって、新たな経営体制のもとで、国をまたぐリージョナル経営を推進し、当社グループの持続的な成長と企業価値のさらなる向上を目指すこととなりました。前任者の里見多一（現・代表取締役会長）に賜りましたご厚情を、引き続き私とグループ従業員一同に賜りますことを心よりお願い申し上げます。

さて、当社グループは、時代とともに変化するお客さまの多様なニーズに合わせ、自らが誇りとする表面改質技術を進化・深化させ、独創性に富む技術と製品を数多く創造し、世に送り出してきました。今後も継続的に技術力の向上を図り、世界に良質な製品・受託加工と技術サポートを提供するとともに、時代が求める環境負荷低減など新たな社会課題を解決するため、さらに技術の研鑽に努めてまいります。

当社は来る2028年に創業100周年を迎えますが、これまでの道のりは平たんなものではありませんでした。皆さまのご支援や諸先輩の尽力により幾多の困難を乗り越え、今日に至っています。現在、当社グループを取り巻く事業環境は不確実かつ不透明さを増しており、将来を容易に見通せる状況にはありません。ただし、こうした状況だからこそ一喜一憂せず、やがて到来するであろう脱炭素社会に向けて新たな技術・用途開発を積極的に進めてまいります。

当社グループは、これからも皆さまから信頼される企業であり続けるため、『あらゆる表面を力ガクで変える』を合言葉に、真のグローバルニッチ企業として飛躍を図るとともに、持続的な成長の実現と社会課題の解決に貢献してまいります。

ステークホルダーの皆さまのご理解とご支援を引き続き賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役 社長執行役員 青山 雅之

トップメッセージ

常識に挑み、自らを変え、 社会を大きく変えよう。

表面改質技術のリーダーとして持続可能な未来を切りひらく力に

1928年の創業以来、日本パーカライジングは「地球上に限りある資源の有効活用を図り、あらゆる素材の表面改質を通じて、資源の新しい価値を創造し、地球環境の保全と豊かな社会作りに貢献します」という企業理念のもと、表面改質技術を磨き、この分野のトップ企業としての地位を維持してまいりました。

当社グループは、この間、自動車産業および鉄鋼業界という2つの基幹産業とともに成長してきました。一方で、自動車産業は脱炭素化のうねりが加速し、電気自動車（EV）化が急速に進もうとしています。また、鉄鋼業界は、中国・インドなどの追い上げが増す中で、国内外の業界再編が進む一方、有害化学物質の削減など環境対応技術への要請が急速に高まっています。

この危機的ともいえる状況から脱皮を図るため、当社グループでは自動車や鉄鋼などの伝統的な市場に加え、医療機器、電子機器、航空宇宙、ヘルスケア、家庭用品など、新たな市場・分野の開拓に全力で取り組んでいます。しかしながら、ロシアによるウクライナ侵攻などの影響によるサプライチェーンの混乱、原材

料やエネルギー価格の高騰などの影響から、事業環境は楽観視できるどころか、一段と厳しさを増しています。

そのような状況下で、鉄の防錆剤や防錆加工法として広がってきた表面改質技術は、最近では環境にもやさしい技術だとの評価も高まり、その役割を見直す動きも始まっています。例えば、金属腐食の代名詞である錆を防ぐ防錆防食技術は、金属の強度劣化や摩耗を防ぐだけでなく、耐久性を高めてモノの耐用年数を大きく延ばすことが明らかになっています。また、素材そのものの強度が高まることで部品・部材の軽量化も可能となり、加工負荷を軽減する技術にも広く活用され、工程短縮や省エネルギーなどさまざまなモノの機能向上に貢献しています。

当社グループでは、環境に貢献する表面処理技術に着目し、次世代自動車に対応した技術開発、環境対応型製品および高機能製品の開発など、社会の新たなニーズに合わせた既存分野の深耕を図り、グループの総合力を生かして、社会課題の解決に寄与してまいります。